

参加者、

秋元、在原、伊東、梅沢、北島、古宇田、
小海、田中、鳥飼、中島(邦、誠)、古川
横瀬、吉本、遊佐、山岡、山下、
ゲスト-吉井、

BMW RS Club

かわらばん

May 7, 2000

ゴールデン・ウイーク中に渋滞ゼロ
を体験し爽やかな高原での一日
かわらばん-中島邦雄、 挿絵-小倉玲子

桜が終わると急に初夏の気配に変わり、都内では少し前まで今を盛りと、ツツジが色とりどりに咲き誇っていました。うねるよう咲く花や、懸崖(けんがい)のように垂れ下がった花々など、まさに「盛りなる花曼陀羅のツツジかな」という虚子の歌そのものの見事さでした。川ではイワナやヤマメ釣りの最盛期を迎え、海では黒鯛、カワハギ、ヒラメそしてアナゴの半夜釣りも始まり、いよいよ本格的な夏の到来目前といったところでしょうか。

今年の連休は長いところでは4月29日より5月7日まで続き、その連休最後の日曜日に大渋滞を急にしながら、恐る恐る今月のツーリングに出ました。川越方面からの仲間のことも考え、担当の遊佐ちゃんが「高坂SA」を集合地に設定しました。いつもは「三芳PA」ですから、頭からそう信じて其処で待っていたメンバーも居たようですが、それに気づいて飛んできました。此処で13人のメンバーが集まり、定刻に下仁田へ向けて出発です。

「上里SA」で待っている人も居るかと、遊佐ちゃんが一人で覗きに立ち寄って確認し、それから上新越道に入りましたが、仲間は誰も居なかったとか。幹事さんは何かと大変なことです。

一番心配していた渋滞は、誰もがそれを恐れて出控えたのか、昨日までにもう遊び疲れたからか、毒氣を抜かれる程にガラガラです。従っていつもよりスピードが上がり、全員が「甘楽」の手前に設置してある、速度違反を捕まえるカメラのライトを次々に点滅させながら、一気に下仁田に着いたのはまだヤット十時でした。ちなみに130キロ位で点滅しましたが、この道はいつかの崖崩れ以来、工事に金がかかるのか遅くとも掘まえるようです。此処で待っていた秋元さんが我々と合流して計14台の陣容となりました。

右手に妙義山の山並を眺めながら国道254に入り、川沿いに少し行くと、前から来た車がライトを点滅させてネズミ取りの合図。他所のバイク・グループ共々ゆっくりと走ると成程やっていました。我々は40キロの速度で5~6人のボリ公の横を、彼等の顔を見ながらユックリ通り過ぎましたが、奴等にすれば一度に20台以上の違反者を捕まえ損ないました。それでも親切に教えてくれた群馬の人々に大感謝です。サンキュウ~。

やや雲が厚かったものの、次第に薄日が差し始め気持ち良く「佐久」方面へ向かって走ります。R254の突き当たりを左折すると、白とピンクのアメリカ・ハナミズキが道に沿って見事に咲き、とても爽やかな気分になりました。

更に進むと「いて座通り」という11月から12月生まれの占い師か、魔女かペテン師でも住んで居るのかと思われる通りを抜けました。そして目指す八千穂高原へと右折すると、そこは「メルヘン街道」と呼ばれるお馴染みの道。

高度が上がるにつれて、なんと桜が見事に咲き乱れコブシの花が、白い小鳥を枝一杯に抱き込んだかのように咲いています。四月のツーリングの時に、富士の裾野で同じような光景に出くわしましたが、まさか五月の声を聞いて、この辺りで桜やコブシが再び見られるとは思いませんでした。なにか儲かった気分です。

周囲には雪を残した山々が聳え立ち、やがてシラカバ林の中を抜けましたが、印象画にでも出てくるようなその風景が余りに見事なので、教養豊かなメンバーは此処でバイクを降り、山岡さんが持ってきたカメラでこやかにハイ・ポーズ。

爽やかな空気と人の気配の少なさのせいか、何となく皆さんハツラツとした感じに見えます。シラカバに囲まれた中で立ち小便でしたが、実に心豊かな感じで他人がこの光景を見たら、キット絵になっていたと思いますがどうでしょう。

早くに着いてユックリ食事をしようと、一気にホテルへ向かって走りました。広々とした中にメルヘンチックな白亜の「小海RE-EXホテル」が建ち、見上げると雪を被った八ヶ岳と赤岳が、我々を歓迎するかのように間近に見えました。此処で小海さんと山下さんが、バイクで我々より一足先に来て待って居ました。これで15人です。

連休最後の日のせいか、ホテルの中は全く人気も無く、大きなレストランは我々の貸し切り状態でした。生ビールを飲みながら、使いつけないナイフとフォークでしとやかに食事をしていると、少々薄汚れた大声の人が闖入(ちんじゅう)して来ましたが、よく見るとナント古宇田さんと伊東さんで、連休を利用して散々走り、この日は福井の方を回った帰りに合流したとか。2000キロ以上も走ったそうですが、本当に元気なことと皆でビックリです。矢張り「ステーキ・ハウス古宇田」のパワーかも知れないと話し合いました。

ロビーの椅子でうたた寝をしているメンバーも居ましたが、外で記念撮影をし13時15分に「須玉IC」に向けてホテルを後にしました。誰もが途中でガス補給をしたり、見事な桜やアンズの花に感心しながら、ゆっくりと山を下ると、途中の谷間でこちらから反対側にかけてまるで鰐の目差のように、沢山の鯉幟が泳いでいました。それは恰も男の我々を祝ってくれているかのようでした。14時45分に「須玉IC」に着き、先着の



メンバーから無線が入り、各々が「談合坂SA」で顔を揃えることになりました。ところが余りに道が空いていてついスピードが上がり、私はアッと言う間に通り過ぎてしまい、「藤野」から遊佐ちゃんに電話を入れ、そのまま東京へ向かいました。相変わらず道は空っぽで、中央道で一回、首都高で一回ずつ今日は計三回も違反ライトを避けました。

約400キロの楽しいツーリングでしたが、特に渋滞ゼロというのが嬉しい限りでした。文京区の家に着いたのが16時05分でしたから、須玉から1時間20分で帰ったことになります。秋からスピード制限が普通車なみになるそうですから、もう暫くはスピード違反には気をつけたいところです。我々はバイクでなければ、もうとうに免停の筈ですがね。

今日の幹事の遊佐ちゃん、どうもご苦労様でした。とても楽しい連休締めくくりの一日でした。